

生きるためにコツコツがんばる姿!

~昆虫の姿にも感動です!~

【感動その1:アリの巣づくり】

アリは地中に巣をつくりますが、巣をつくるとき の土はどのようにするのでしょうか。

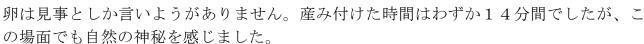
アリは大あごで砂のつぶをくわえながら巣の入口の周りにおいていきます。巣の入口の近いところから置いていくのですが、最も近いところにおいていくので、必然的に運ばれた砂のつぶは円形になりま

す。アリ同士が相談することもなく、効率よく?作業しています。アリは高いところから俯瞰することなく、きれいに作ろうと思っているわけではないと思いますが、結果的に作られた巣を観察すると、見た目もきれいな形に自然の神秘を感

じました。

【感動その2:キバネツノトンボの産卵】

キバネツノトンボは「トンボ」とついていますが、カゲロウの仲間です。全国的には局所的に生息する昆虫です。1年でも、5月に多く観察できます。6月に入り、今年は見ることができないかなあと思っていたら、偶然にも卵を草の茎に産み付ける場面を観察することができました。草むらの中から風に揺れてもあまり揺れない草を選び、茎の左右交互に一つずつ卵を産み付けていました。卵がしっかり茎に付くのを確認しながら生み進める姿を見ていると応援したくなります。53個の卵を産み終えると、見事に2列に産み付けていました。キバネツノトンボは、2列にきれいに産み付けようと思ったわけではないと思います。しかし、一直線に産み付けられた



これから、ますます多くの生き物が活発に活動する時期になります。もしよかったら、 お子さんとじっくり観察してはいかがでしょうか。 夏休みの自由研究にしても面白いと 思います。